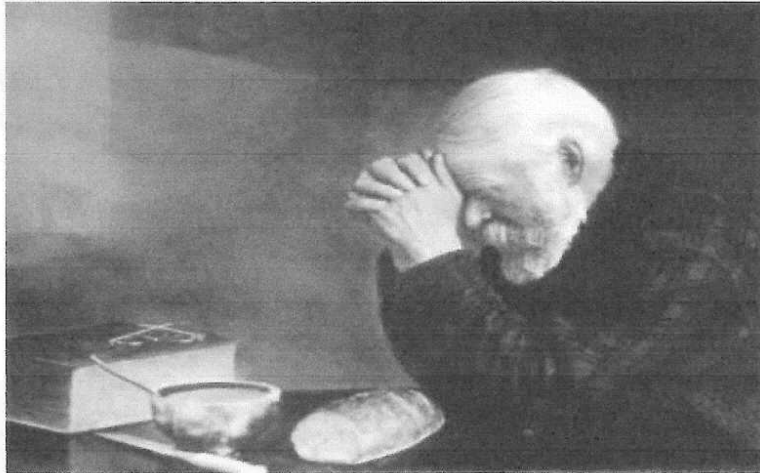


〈御名があがめられますように〉

マタイ 6：5～13



「祈り」は神と私たちとが交わりを持って生きる具体的な場

- ◇「このように祈りなさい」とお命じになったのは、神が私たちと関係を結ぼうとされておられるから。
- ◇「祈りの内容が教えられている」のは、神が、私たちとどういう関係を結ぼうとしているのかを、お示しになっているということ

◇祈る時の間違った姿勢をイエスさまは戒めた。

- ・偽善者のようであってはいけない 【5節】
- ・異邦人のように繰り返し言葉を唱えない【7節】 → バアルの預言者達

彼らの真似をしてはいけない！

あなた方の父なる神は、あなた方がお願いする先に、あなた方に必要なものを知っておられます。

【8節】

では、どう祈る？

イエスさまが教えられた祈り 「主の祈り」 対神が3つ／対自分が3つ

天にいます私たちの父よ。

御名があがめられますように。

御国が来ますように。

みこころが天で行われるように地でも行われますように。

私たちの日ごとの糧をきょうもお与えください。

私たちの負いめをお赦しください。私たちも、私たちに負いめのある人たちを赦しました。

私たちを試みに会わせないで、悪からお救いください。

第1番目の祈り。 天にいます私たちの父よ。御名あがめられますように。

「あがめる」ギリシャ語・ハギアゾー-ἁγιαζω・・・聖なるものとして、他のものから
区別して扱うこと。

モーセの十戒 「主の御名を、みだりに唱えてはならない。」

聖なる御方は聖すぎて、全くきよくない自分たちは、この方の御名を唱える
こともできない。しかしイエスさまは、その私たちに、聖なるお方を「父」と呼
「御名があがめられますように。」と褒め称える祈りを与えてくださった！

「御名があがめられるように」というのはどういうこと？

宗教改革者マルチン・ルター

10人のツァラートに冒された人の話 (ルカ17:11～19)

- ・10人が癒されたが、イエスさまをあがめるために戻ってきたのはたった一人。
- ・戻ってきた一人は聖い神からは遠い存在として、蔑^{きばす}まれていたサマリヤ人
10人きよめられたのではないか。他の9人はどこにいるのか。
神をあがめるために戻って来た者は、この外国人のほかになれもないのか。
- ・病気が癒された喜び以上に、神の愛が自分にも注がれていたことを知った喜び。

あなたの恵みは、いのちにもまさるゆえ、私のくちびるは、あなたを賛美します。それゆえ私は
生きているかりぎ、あなたをほめたたえ、あなたの御名により、両手を上げて祈ります。

私のたましいが脂肪と髓に満ち足りるかのように、私のくちびるは喜びにあふれて賛美します。

詩篇63:3～5